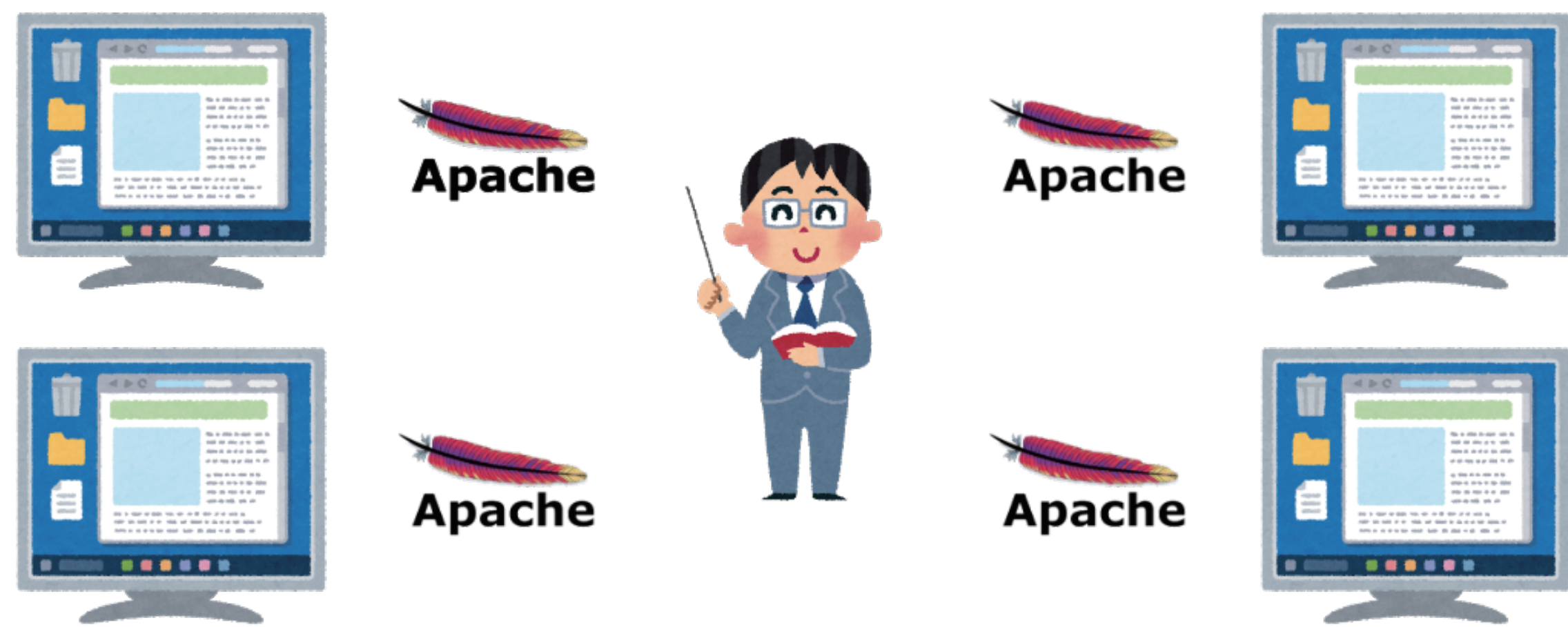


プログラミング教育を支援する Web アプリケーション (Envar) の開発

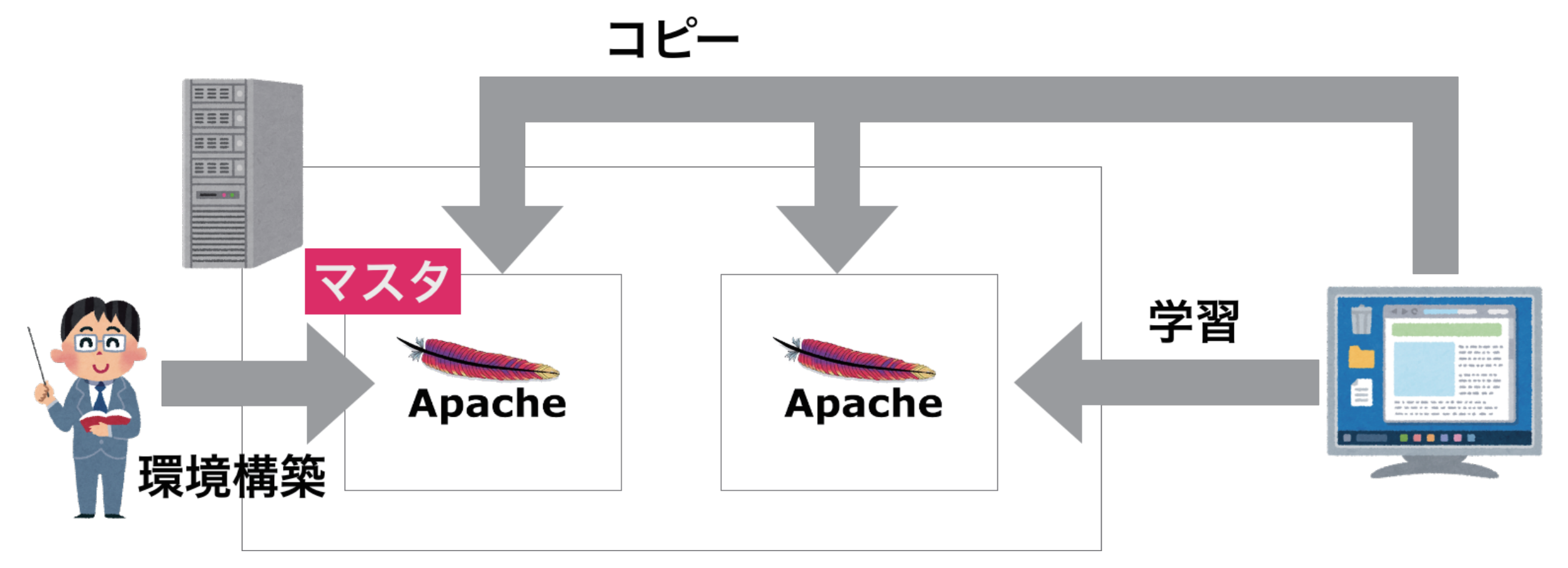
開発駆動コース 仲山ゼミ 小林聖人

教育の現場での環境構築の労力を大幅に軽減します

プログラミング教育の現状



Envar 導入後



教育者が各学習者の PC に環境を構築

- ・ 相当な労力がかかる
- ・ 変更を加える場合全ての PC で作業を行う必要がある
- ・ 学習者が自宅で学習する場合に自力での環境構築が必要

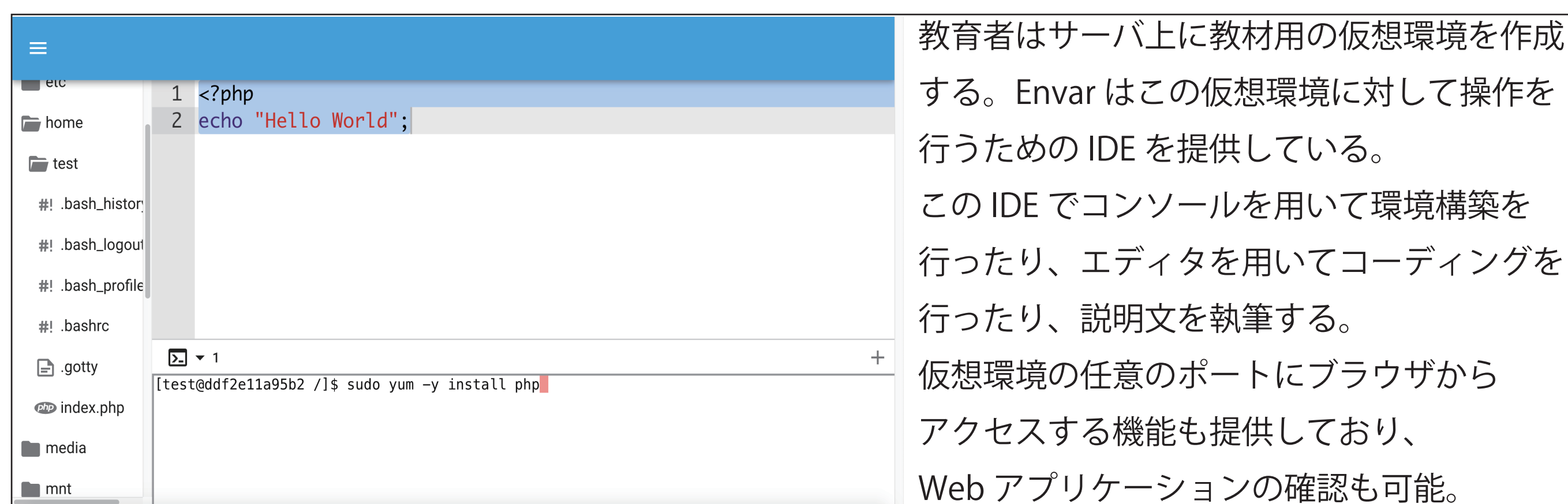
教育の質の低下を招く

教育者はサーバ上に 1 度だけ環境構築

- ・ 環境構築にかかる労力はマスタ 1 回分だけ
- ・ 変更を加える場合はマスタにのみ変更を加える
- ・ ユーザアカウントがあればどこでも同じ環境下で学習可能

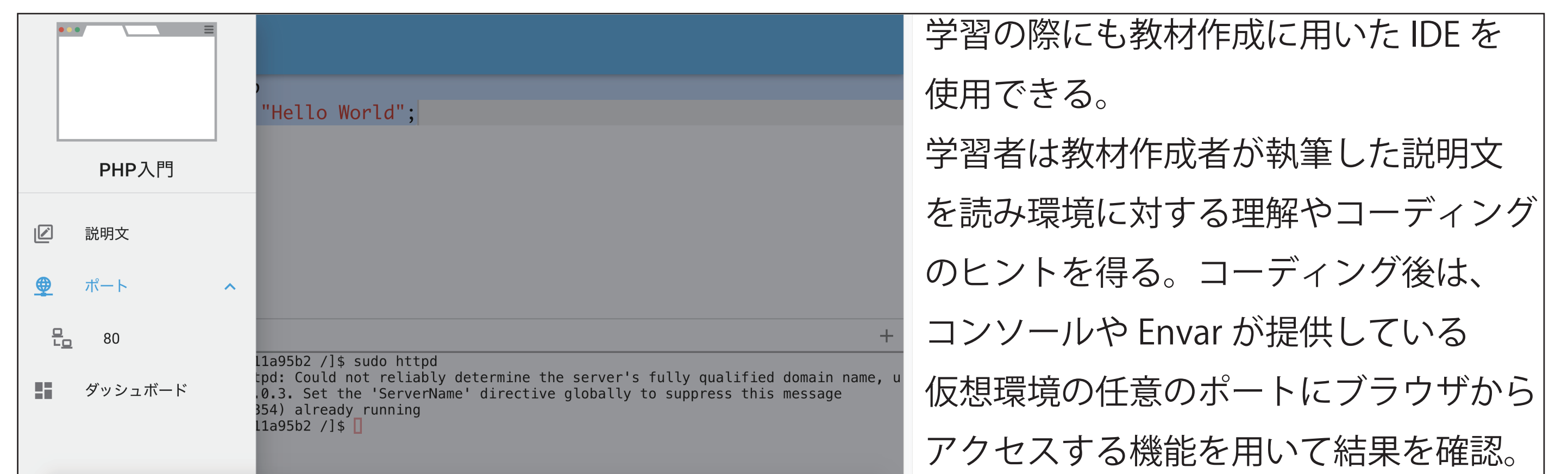
教育の質の向上に貢献

教材作成



教育者はサーバ上に教材用の仮想環境を作成する。Envar はこの仮想環境に対して操作を行うための IDE を提供している。この IDE でコンソールを用いて環境構築を行ったり、エディタを用いてコーディングを行ったり、説明文を執筆する。仮想環境の任意のポートにブラウザからアクセスする機能も提供しており、Web アプリケーションの確認も可能。

学習



学習の際にも教材作成に用いた IDE を使用できる。学習者は教材作成者が執筆した説明文を読み環境に対する理解やコーディングのヒントを得る。コーディング後は、コンソールや Envar が提供している仮想環境の任意のポートにブラウザからアクセスする機能を用いて結果を確認。

学習までの流れ

